

平成22年第1回定例会報告

第1回定例会には、平成22年度予算関係13件、平成21年度補正予算関係3件、条例関係8件、人事案件5件、その他の案件6件の合計35件が市長から上程されました。

「専決処分の報告及び承認について」及び人事案件5件は、2日目に採決をし、原案のとおり可決しました。今定例会に上程されました予算関係、条例関係、その他の案件の29件は、各常任委員会に付託され、3月11日、12日、15日、16日及び17日に審査し、本会議において、すべて原案のとおり可決しました。

また、「核廃絶に向けた取り組みの強化を求める意見書」を全会一致で可決（16ページ参照）し、関係行政庁へ提出しました。

本会議での採決状況及び結果につきましては、下表のとおりです。

議案名	採決結果	議案の主な内容
平成22年度土岐市一般会計予算	賛成 15 反対 1	総額 20,900,000 千円
平成22年度土岐市下水道事業特別会計予算	全会一致	総額 2,321,725 千円
平成22年度土岐市交通災害共済特別会計予算	全会一致	総額 14,511 千円
平成22年度土岐市国民健康保険特別会計予算	賛成 15 反対 1	総額 6,654,086 千円
平成22年度土岐市自動車駐車場事業特別会計予算	全会一致	総額 69,642 千円
平成22年度土岐市老人保健特別会計予算	全会一致	総額 2,886 千円
平成22年度土岐市介護保険特別会計予算	全会一致	総額 3,891,191 千円
平成22年度土岐市農業集落排水事業特別会計予算	全会一致	総額 26,050 千円
平成22年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計予算	全会一致	総額 40,992 千円
平成22年度土岐市・瑞浪市障害者自立支援認定審査会特別会計予算	全会一致	総額 5,283 千円
平成22年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計予算	全会一致	総額 1,057,848 千円
平成22年度土岐市病院事業会計予算	全会一致	総額 8,306,516 千円
平成22年度土岐市水道事業会計予算	全会一致	総額 2,322,224 千円
専決処分の報告及び承認について 平成21年度土岐市一般会計補正予算（第8号）	全会一致	補正額 100,205 千円 新土岐津線整備事業
平成21年度土岐市一般会計補正予算（第9号）	賛成 13 反対 1	補正額 376,561 千円 地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業
土岐市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致	旅費の額改定のため
土岐市積立基金条例の一部を改正する条例について	全会一致	地域活性化対策基金廃止のため
土岐市防災会議条例の一部を改正する条例について	全会一致	団体の解散及び名称変更のため
土岐市美濃焼伝統産業会館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致	高校生等の入館料を無料にするため

議案名	採決結果	議案の主な内容
土岐市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致	住居手当等を改定するため
土岐都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致	用途地域外の下水道整備事業に伴う受益者分担金の額を定めるため
土岐市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致	機能別団員を新たに設置するため
土岐市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致	高校生等の入館料を無料にするため
土地の取得について	賛成 13 反対 2	土岐ヶ丘四丁目 1 番 1 11,061.89㎡
土地の取得について	全会一致	下石町字起1795番1他10筆 73,386㎡
土地の取得について	全会一致	下石町字堤下1129番4他 135筆 47,051.73㎡
土地の取得について	全会一致	泉町久尻字滝ヶ洞1512番3 40,440.10㎡
市道路線の認定について	全会一致	泉町地内の 2 路線を市道認定
市道路線の廃止について	全会一致	曾木町地内の市道 1 路線を廃止
土岐市教育委員会委員の選任同意について	全会一致	増田章さんの選任同意
土岐市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について (3 件)	全会一致	大野繁さん、土本すみ子さん、東俊之さんの選任同意
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	全会一致	見鳥久枝さんの推薦同意
平成 21 年度土岐市一般会計補正予算 (第 10 号)	全会一致	補正額 1,043,770 千円 土地開発公社からの土地の取得

第二常任委員会

今回、第二常任委員会に付託されました議案は、予算関係 9 件、条例関係 4 件、その他の案件 4 件でありました。主な質疑・答弁は次のとおりです。

☆平成 22 年度一般会計予算

質疑 県支出金の商工費補助金の商店街活性化総合支援事業費補助金について、街灯の LED 化に対して補助されるが、設置場所と負担割合について

答弁 土岐市駅前から東に向かって 25 基の街灯を LED にする事業である。県・市・土岐市駅前商店街の共栄会がそれぞれ 3 分の 1 負担する。

質疑 教育費補助金の市町村緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費補助金について、事業内容は。

答弁 発掘写真や収蔵品の写真、図録等を合わせ 3 千点の文化財を電子化にする事業である。新規雇用者 6 名を 90 日間雇用する予定である。

質疑 中小企業販路開拓等支援事業について、22 年度に予定している販路開拓事業の内容について

答弁 東京ドームで開催されるどんぶり百選、美濃焼ニューコレクション、新春見本市。駄知陶磁器工業協同組合が東京ビックサイトで開催されるインテリアライフスタイルショーに出展す

る事業。また、土岐市美濃焼卸センターが上海で開催される展示会に出展する事業などがある。

質疑 衛生費の合併浄化槽設置補助事業について、今回は補助対象設置数を実状に沿って計画したとのことだが、どのような計画をしたのか。

答弁 今までは、生活排水基本計画により、1年間に110基としていたが、実状は1年間で50基ぐらいである。今回は、59基と見込んで予算計上している。

質疑 土木費の東海環状自動車道五斗時パーキングエリアスマートインターチェンジ建設事業について

答弁 22年度は、市道の整備をしながら、国からの連結許可が出次第、工事を進める予定である。平成24年2月に供用開始することを目標として、建設を実施する。

質疑 教育費の土岐市女性連合会補助金について、補助金の内容は。

答弁 平成22年2月21日をもって、土岐市女性連合会は解散されたが、新たに、市内の女性に無理なく参加をいたしながら、交流を深め、研修や発言の場を確保するための組織づくりが進められている。「学び」と「人づくり」の視点から支援をするため、準備資金として、補助金を計上した。

☆平成22年度土岐市下水道事業特別会計予算

質疑 第7期事業認可のスケジュールについて

答弁 第7期事業認可は平成27年度までに事業を行う計画である。22年度の計画は、泉町河合地区、下肥田地区、妻木町須後地区の実施設計を行う予定である。

☆平成22年度土岐市交通災害共済特別会計予算

質疑 共済見舞金の内訳について

答弁 死亡の方の見舞金100万円が2人分、9ヶ月以上の傷害を受けられた方を見舞金18万円が10人分、6ヶ月以上の傷害を受けられた方を見舞金15万円が22人分、3ヶ月以上の傷害を受けられた方を見舞金7万5千円が32人分、1ヶ月以上の傷害を受けられた方を見舞金3万円が20人、1ヶ月未満の傷害を受けられた方を見舞金1万円が20人分、合計1千30万円となっている。

☆平成22年度土岐市農業集落排水事業特別会計予算

質疑 現在の加入戸数及び水洗化率はどうになっているのか。

答弁 加入戸数は99戸、水洗化率は39・1%である。
この事業は地元要望で行ったものであ

り、100%に近い水洗化率を目標としているが、22年度には、50から60%弱と予測している。今後も地元組合とともに水洗化率向上に努めたいと思っている。

質疑 今後、一般会計からの繰入金は、どう推移していくのか。

答弁 21年度から公債費の元金償還が始まったため、22年度は、約1千万円の繰入である。しかし、繰越金が2年程で枯渇するため、それ以後は、3千万円程度の繰入になると想定している。

☆平成22年度土岐市水道事業会計予算

質疑 節水意識の定着により、新規加入件数が増えても、年間総給水量は年々減少している。それに伴い給水単価に大きな影響がでるのではないか。

答弁 年間給水量減少による給水単価の影響はほとんどないが、少しでも経費を節減するための努力をし、給水原価を下げるよう努めている。

☆土岐市美濃焼伝統産業会館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 今回は、高校生の入館料を無料にする条例改正であるが、なぜ大学生を無料にしないのか。大学生も含めて無料化にするべきではないのか。

答弁 県内及び近隣市の同様の施設を

調査した結果高校生以下は無料となっている。そのような状況もあり、協議した結果高校生以下を無料とした。

質疑 年間の入館料収入はいくらになるのか。

答弁 20年度は、年間69万2千4百円である。

※美濃焼伝統産業会館は、ほとんどが販売のための展示となっており、土岐市の地場産業活性化、美濃焼のPRのためにも全ての来館者に対して入館料無料にしていたきたい旨の要望があり、入館料の無料化に向けた検討を早急に行なうよう附帯決議を付した。

☆土岐都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 受益者分担金は、敷地一区画当たり17万円であるが、納付方法について

答弁 受益者負担金と同様、5年間の分割納付と前納報奨金も考えている。

質疑 一区画とは、どのような単位なのか。

答弁 一区画の考え方は、一般的には一世帯と考えている。同じ敷地内で、取付管を二ヶ所設置する場合は、二区画と考えている。

第一常任委員会

第一常任委員会に付託されました議案は、予算関係8件、補正予算関係1件、条例関係5件、その他の案件4件でありました。主な質疑・答弁は次のとおりです。

☆平成22年度土岐市一般会計予算

質疑 子ども手当が創設されるが、現在支給している児童手当と比べ、市の負担はどうなるか。

答弁 発生する差額は子ども手当特例交付金として、国から措置されるため市の負担は増えない。

質疑 県支出金の医療費助成事業費補助金について、補助率が2分の1から10分の4に減額されるが影響は。

答弁 減額分の4千601万3千円は市の負担になる。

質疑 県支出金の妊婦健康診査事業費補助金について、妊婦健診での超音波検査は、補助対象となっているか。

答弁 14回の妊婦健診のうち6回から14回までが県の補助対象となっており超音波検査も対象となっている。

質疑 介護基盤緊急整備等臨時特例基金事業費補助金の事業内容は。

答弁 土岐市地域密着型サービス事業所としてグループホーム事業所を公募し、選定された事業所に建設費及び開

設準備金を補助する事業である。妻木町と泉町に建設を予定している事業所に対して補助金を交付するものである。

質疑 新たに設置される生活保護相談支援員の仕事内容は。

答弁 生活保護の申請のため窓口にみえた方の相談、受給開始後の支援を行う仕事内容である。

質疑 子ども手当給付費について、子ども手当に関するスケジュールは。

答弁 4月1日号の広報で周知を図る。現在、児童手当を受給してみえる方については手続は必要なく、新規認定者には案内書を4月中旬に発送し、6月からの支給を予定している。

質疑 幼児療育センター運営委託料について、センターに通っている人数と支援状況は。

答弁 20名程のお子さんが通っている。言葉が出にくいお子さんの療育が中心で、他に保護者の方々の交流を深めたり、相談先の紹介をし、孤独にならないよう努めている。

質疑 老人ホーム費の賃金について、日々雇用職員が減となっているが影響はないのか。

答弁 現在34名の入所者であるが、週1回嘱託医による診察等を行い、看護監を1名配置している。

☆平成22年度土岐市国民健康保険特別会計予算

質疑 人間ドックの受診人数を増やし自己負担を増額する内訳は。

答弁 4種類の人間ドックを行っているが希望者が非常に多い。そのため100人の増員を見込み、自己負担を3割から5割にした。

☆平成22年度土岐市介護保険特別会計予算

質疑 近年の保険料の収納率は。

答弁 18年度89・5%、19年度86・6%、20年度87%である。

☆平成22年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計予算

質疑 人間ドックを100人見込んでいるが市の単独事業か。

答弁 希望する市町村に広域連合から補助金として交付がある。

☆平成22年度土岐市病院事業会計予算

質疑 情報システム構築事業など総額7億4千万円の借入れによる投資をするが投資効果はどうか。

答弁 電子カルテの導入などで患者の過去からの症例・検査結果・投薬情報などが一元管理できる。情報の共有化、安全管理の向上、待ち時間の短縮など大きなメリットがある。

質疑 ジェネリック薬品の使用方針は。

答弁 入院・外来とも順次取り入れていく予定である。

☆土岐市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 機能別団員はどのような目的で組織するのか。

答弁 昼間に火災が発生した場合、消防署や消防団員だけでは対応できないことが予想され、それを補完することが目的であり、泉地区を想定している。

☆土地の取得について

質疑 土岐ブラスマ・リサーチパークの土地を取得する目的は何か。

答弁 土岐市活性化の起爆剤として、雇用・税収・にぎわい確保のため、地域経済の活性化を目的としている。

☆土地の取得について

質疑 泉町の山林を取得する目的は。

答弁 地元から要望があり、市民が安全で安心した生活が確信できるよう市有地と一体となった環境保全を目的として取得するものである。

